

実践例2 ボール遊びを通して、 子供の意欲や自主性を育む取組

瀬戸市立こうはん南保育園（愛知県）

幼児数：115名 職員数：26名（平成27年1月28日現在）

使用するボールについて：ボールは新聞紙で作ります。

新聞紙ボールの作り方



事前の準備：布ガムテープは事前に切っておきます。新聞紙を2枚使う大サイズは25cmほど、新聞紙1枚の小サイズは15～20cmほどに切りましょう。

作り方：

- 1) 新聞紙（大は2枚、小は1枚）をしっかりと均等に力を入れて丸めます。
- 2) 丸めた新聞紙に切っておいた布ガムテープを巻きます。新聞紙が隠れるよう、全体にバランスよく巻いてください。

P **ポイント：**
・柔らかく作ると破れたりくずれたりする上、投げてまっすぐ上がりません。ぎゅっと均等に丸めるよう気を付けましょう。
・布ガムテープの厚みがかたよるとまっすぐ投げられないので、均一に巻きましょう。

P **ポイント：**
年齢によっては自分で“マイボール”を作り、親しみや愛着をもって取り組めるようにするといでしょう。

保育者の声

新聞紙なので軽いですし、万が一、踏んだりつまずいたりしてもけがをしにくいです。空気入りのボールだと子供には握りにくいこともあるので、子供の手になじみやすいのも利点だと思います。

1人キャッチボール “まずはボールに親しもう。新聞紙だから当たっても痛くないね。”

遊びの例：

- 1) ボールを自分の頭の上に投げてキャッチします。
- 2) できるようになったら、ボールが頭上にある間に手を叩いてからキャッチします。何回手を叩けるかな？



P **ポイント：**
他の子供とぶつかってけがをしないよう、十分に間隔をとって遊ぶようにしましょう。

ボールを遠くに投げる遊び

“もっと遠くに投げてみよう。”

遊びの例：前に向かって新聞紙ボールを投げます。



P **ポイント：**
子供の能力に応じて、より遠くに投げられるよう、投げる腕と逆の足を上げるように声をかけてみるといいでしょう。

的当て遊び

“点数を競ったり、大きな鬼を退治したり。みんなで楽しく遊ぼうね。”



用意するもの：紙や布で作った大きな的

遊びの例：

- 1) 園庭の遊具や遊戯室の壁を使って大きな的を作ります。
- 2) 的をめがけて、新聞紙ボールを投げます。

- P** **ポイント：**
- ・全力で投げるのではなく、やや力を抜いた方がコントロールしやすくなります。
 - ・的をブロックに分けて数字を書き、『何番に当たる』と目標を立てたり、当たった点数を競ったり、大きな鬼やおばけなどを描き、目や鼻に当たったら退治できるなど、遊びや競争の要素を取り入れることでゲーム性が高まり、子供のやる気につながります。

ボール投げゲーム

用意するもの：新聞紙ボール1人1個、バレーボール等のネット

遊びの例：

- 1) 2つのチームに分かれ、1人1個ボールを持って左右の線の所に並んで立ちます。保育者2人は中央でネットを持ちます。
- 2) 笛の合図でボールを相手チームの陣地に投げ入れます。
- 3) 自分の陣地に投げられたボールを拾って相手チームの陣地に投げ入れます。
- 4) 終わりの笛が吹かれた時、陣地内のボールが少ない方が勝ちです。



- P** **ポイント：**
- 子供の意欲に応じてネットの高さを変えてみましょう。

繰り返し楽しく遊ぶために工夫していること

自由遊びの時間にも工夫を

園庭にかごを設置したり、的になるような絵などを貼ったりしておくことで、ボール遊びの時間だけではなく、自由遊びの時間でも自然とそこをめがけてボールを投げたり、小さい子供に教えたりするようになりました。

達成感を大切に

最初からこうしろ、ああしろと理屈を教えすぎると子供は楽しく遊べません。まずは自由に投げることから始めて、子供の意欲に応じて動きのポイントなどの声かけをすることで、子供が達成感を感じながら繰り返し遊ぶことができるようになりました。

保育者の声

- ・跳び箱や鉄棒などと違い、新聞紙ボールは1人1個あり、待ち時間がなく遊べるので、子供一人ひとりが自分のやりたいペースで遊ぶことができます。
- ・3歳、4歳、5歳と成長するにつれて、それぞれの目標が生まれてきます。自分なりの成果が達成感を生み出しますし、保育者や周りの子供がそれを認めてあげることが子供の成長につながります。
- ・目的をもってがんばる気持ちが芽生えたと、楽しいことが待っているから早く片付けよう、早くこれを終わらせようという日常生活まで変化が見られます。